

ノ所在ヲ竊取シ裏面ニ於テ債權者知己等ニ漢領シ新會社ノ創
 立又ハ別途ノ方法ニ依ル會社更生ノ途ヲスハク奔走中ナル模
 様ナルヲ目下ノ所其行動全然判明セス社長高岡作吉ノ家族ニ
 爭議團ノ來訪頻繁ナルニ堪ヘ兼テ去ル三月二十七日早朝妻子
 三名ハ女中二名ヲ残シタル侶所在ヲ竊取セリ

二 勞働者側

爭議團側ニアリテハ去ル三月二十三日爭議團本部ヲ既報ノ森
 下淀橋町柏木三三四ニ移轉シ組合本部ヲ指導、下ニ結束ヲ固
 メ持久戰ノ備ハシ、去スト共ニ別添ノ如キ印刷物其他傳單等ヲ
 撒布又ハ貼付シ宣傳ニ努メ一方社長重役等、所在ヲ探スハク
 爭議團負數班ニ別レ奔走中ニシテ時々各重役ノ私宅等ヲ訪問
 シツ、アリ目下ノ處特異ナル警察事故ノ甚起ヲミサレタ今後
 相當變化スルニ非スマト認メラレ

右及中(通)報候也

勞務第一六三七號

昭和七年五月三十日

警視總監

藤

沼

平

件
 中
 報

勞務課長



山本 達雄 殿

社會局長 官殿

各縣存縣長 官殿

(ハ縣存長)

7. 6. 2
 392

東和ゴム株式会社勞働爭議ニ関スル件 (第四報)

標記勞働爭議ハ前報後當廳調停課ニ於テ勞資數次折衝中、去本
 月二十五日午後四時左記条件ヲ示解決セリ

右及中(通)報候也

解決条件

一 會社ハ事業ヲ開始シ後従業員全員ヲ使用スルスト